

項目 部門	班	具体的研究課題	問題提起者	司会者	助言者	参加者数
保健・安全	小学校	心とからだの調和のとれた発達を促すための保健安全指導はどのようにしたらよいか。	軽部 評 (真野小教諭) 鈴木 茂 (大成小教諭)	水戸 衛 (白二小教頭)	磯崎 修 (鏡石一小校長) 折橋 三恵子 (県保体指導主事)	105
	中学校	心身ともに健康な生活を実践するための保健安全指導はどのようにしたらよいか。	前田 英明 (富岡一中教諭) 伊東 豊 (南郷中教諭)	田中 吉男 (多田野中教諭)	佐藤 雄喜 (埴中教頭) 土田 隆 (県北教指導主事)	42
	高等学校	保健安全の指導と管理を積極的にすすめるためにはどのようにしたらよいか。	鈴木 和子 (郡北工高養教) 白根 一英 (白農工高教諭) 赤城 哲也 (若松商高教諭)	田辺 昭次 (白農工高教頭)	佐藤 暹 (小野高教頭) 佐藤 十次 (県保体指導主事)	36
給食	栄養	栄養を確保し、魅力ある食事内容とするためにはどのようにしたらよいか。	佐久間 秀子 (岩代小浜小岩代) 給七 栄枝 円井 則子 (中島学給七栄枝)	菊地 カツヨ (白河一小栄枝)	佐久間 コト (堀越小校長) 坂本 栄 (県保体主任主査)	38
	指導	楽しい学校給食をめざして指導はどのようにしたらよいか。	藤田 好一 (社川小教諭) 小沼 利久 (高倉小教頭)	古川 政美 (鮫川小教諭)	鈴木 勇 (社川小校長) 浜須 義昌 (相双教指導主事)	39
	単独校	単独校調理方式における管理と運営の改善充実を図るにはどのようにしたらよいか。	白坂 昇 (矢吹小教頭) 土屋 知一 (中妻小教頭)	小松 幹夫 (石井小教頭)	本宮 俊一 (福良小校長) 我妻 政久 (県中教指導主事)	16
	共同調理	共同調理場の管理と運営の改善充実を図るにはどのようにしたらよいか。	菊地 良江 (塙学給七栄枝) 黒田 定男 (勿来学校給食) 共調場所長	新沢 高子 (三穂田学校給) (食共調場所長)	齋藤 忠男 (福島北部) (学給七所長) 相良 秀吉 (いわき教指導主事)	36
計						456

第8節 社会体育

1 社会体育関係各種指導者講習会

(1) 野外活動(サイクリング)指導者講習会

- ① 期 日 昭和53年9月30日～10月1日(1泊2日)
- ② 会 場 福島県自転車会館
福島県少年自然の家(郡山市)
- ③ 参加対象
県内各市町村教育委員会社会体育担当職員、公民館職員、体育指導委員、スポーツ指導員、スポーツ少年団指導者、野外活動指導者
- ④ 講習内容及び講師
ア 講 義
(ア) サイクリングの基礎知識
福島県サイクリング協会事務局 伊藤栄太郎
(イ) 自転車の機能と組み立て調整
日本サイクリング協会嘱託講師 明石 悠久
(ウ) 実走上必要な交通ルール
日本サイクリング協会嘱託講師 佐藤 勝彦
イ 実走、映画、研究協議
上記の講師のほか
福島県サイクリング協会専務理事 加藤 宏
ウ 資格認定試験
- ⑤ 概 況
県下16市町村から38名の参加者があり、受講者全員熱

(2) 野外活動(スキー)指導者講習会

- ① 期 日 昭和54年2月15日～17日(2泊3日)
- ② 会 場 沼尻スキー場(猪苗代町)
田村屋旅館
- ③ 参加対象
県内各市町村社会体育指導者、体育指導委員、スポーツ少年団指導者。
- ④ 講習内容及び講師
ア 講 義
(ア) スキーの効果的指導法
全日本スキー連盟指導員 松浦 俊夫
(イ) スキー事故の防止と救急法について
日本赤十字社救急指導員 渡部 義健
イ 実 技
対象の特性に応じたスキー技術の指導法
全日本スキー連盟指導員 阿部 庄司
" 渡部 勝利
" 小沢 新
" 齋藤 一
- ⑤ 概 況
雪不足のため開催期日を変更して実施した。県下28市町村から58名の参加者で、全員事故もなく研修の目的を